



社会福祉法人 聖音会

# 明日へ

第21号

令和6年6月1日発行

児童養護施設 鎌倉児童ホーム

(発行責任者 施設長 加藤昌代)

〒248-0017

神奈川県鎌倉市佐助1-6-6

電話 0467-22-0424

FAX 0467-22-1766

## 理事長交代のお知らせ

このたび当法人の理事長が小原勉から石黒敬史に交代いたしました。  
新理事長の石黒敬史からのご挨拶を掲載いたします。

### 就任のご挨拶

社会福祉法人聖音会は、創立者佐竹音次郎が子供たちの幸せを念願し、現在の児童養護施設「鎌倉児童ホーム」の前身である「小児保育院」の看板を自らの経営する医院の門柱に掲げた、明治29年の7月20日がその始まりとされています。

その後、全国の先駆けとも言える取組みを次々と行ってきましたが、現在、子どもや障害者を取り巻く環境は大きく変わり、当時とは異なる形での厳しさがあり、様々な課題や困難が山積しています。

また、ガバナンスの強化、コンプライアンス、地域貢献・・・これまではあまり言われてこなかったことが、社会福祉法人の責務として問われています。

この福祉の流れに対応しつつ、より質の高い福祉サービスの提供、人材育成、人材確保等々、ひとつひとつの課題に答えを出していかなければなりません。

長年培ったノウハウや専門性の高い人材を活用して、何ができるのか、どうすれば良いのか、創設者の志を忘れず、時代の変化に対応した新しい試みを模索しながら、聖音会がこれまで以上に地域に頼られる存在となる事が出来るよう職員の皆さんとともに力を尽くしてまいりたいと思います。

社会福祉法人聖音会 理事長 石黒敬史



初代園父佐竹音次郎象と初代園母佐竹熊子象とともに

# 羽ばたく君へ

## 想いは常に心の中に

令和5年度3月2日、鎌倉児童ホームの卒園式が行われました。

今年も4名の子ども達が鎌倉児童ホームから旅立ちます。

卒園の時期になると、子ども達一人一人が今までの自分の軌跡を振り返ります。

自分の置かれた状況が分からず、目の前にある施設の生活を受け入れてきた幼少期。

小学校に上がり周りの家庭との違いに気づき、様々な気持ちが芽生える学童期。

青年期になると就職、進学、一人での生活……卒園後の事を悩み始め、

言葉では表現しきれない不安に逃げ出したくなったこともあったと思います。

それでも、卒園する子ども達は自分のこれからを自分の力で選択し、

**今新たなスタートライン**に立っています！

そんな頼もしい姿に、憧れる次の世代の子ども達がいること。

学校生活を一緒に楽しみ、乗り越えてきた友だちがいること。

小さい頃を昨日のこのように思い出し、今にも涙が溢れそうになる職員がいること。

周りには **あなたを大切に想っている** 人たちがたくさんいるのを忘れないで……

みんなが帰る場所として、鎌倉児童ホームはここにあり続けます。

当日、卒園式にご来賓いただきました方々。

そして、これまで子ども達を一緒に支え見守ってくださっていた皆様。

本当にありがとうございました。



**「行ってらっしゃい。いつでも帰っておいでね。」**

(堀内)



# 鎌倉児童ホームは地域の里親家庭・子育て家庭を応援しています！



鎌倉児童ホームは【里親支援機関】でもあります！



鎌倉児童ホームでは平成30年度より、家庭養育支援事業を神奈川県より受託をしています。家庭養育支援センターとして「里親制度の普及啓発」「里親相談事業」「里親研修事業」「里子支援事業」を行っています。支援の1つとして<レスパイト>があります。里親のお仕事や冠婚葬祭、心身の小休息などのために1日～2日ほど里子さんをお預かりしています。

今回は、レスパイトや子育て短期支援で使っているお部屋をご案内します～(宮崎)



子どもたちが過ごすお部屋です

職員とご飯を食べたりのんびりテレビを観ています



ふかふかのぬいぐるみを抱っこしたりマットの上でゴロゴロも…



子どもたちに大人気のおままごとセットです。たくさん遊べます！

## 地域の【子育て支援】をおこないます！

鎌倉児童ホームは、鎌倉市の「子育て短期支援事業」(※)を令和5年度4月から、逗子市の「子育て短期支援事業」を令和6年度から受託しています。

鎌ホの子どもたちは別の建物のお部屋で、担当の職員がいっしょに過ごします。

「子育て短期事業」については、鎌倉市または逗子市にお住まいのご家庭が対象になります。それぞれの市役所にお問い合わせください。

(※)子育て中の保護者の病気、出産、育児疲れなどにより、お子さんの養育が一時的に困難となる場合に市が委託する施設でお子さんの養育や保護をします。

# 2年目も頑張ります

当ホームでは入職一年目の方には担当を持たずに研修期間として過ごしていただきます。

(8か月間は鎌倉児童ホームの4つのブロックで2ヶ月間ずつ、

4か月間は同じ法人のさがみ野ホームか綾瀬ホームのどちらかでの研修が予定されています)

令和5年度に新しく加わった3名の方々にこれまでの楽しかったことや大変な思いをしたことなどを振り返っていただきました。(イラストは上がゆなさん、下がさなさんによるものです) (構成:豊本)

まゆ  
さん



かなこ  
さん



施設見学の際に職員と児童の自然体な関わりを見て、

「私も鎌倉児童ホームのような環境で働き成長したい」と思いました。八月の夏祭りでは子どもたちの嬉しそうな表情や楽しそうな表情を沢山見ることができました。

6つの場所での研修なので慣れた頃に異動となるのが続き、大変こともありますが、生活の中で子どもの笑顔や楽しそうにしている瞬間に出会えた時に「これからも頑張ろう!」と力をもらっています。先輩職員の方が築き上げた子どもが「ただいま!」と安心して言える空間を守っていきたいです。

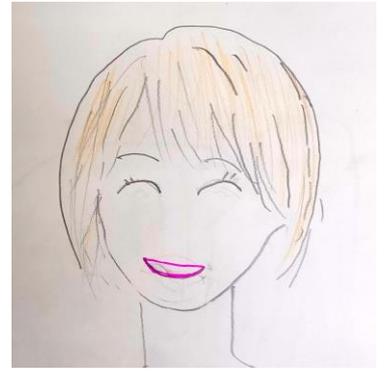
2年目からは配属先のブロックが決まりますが、他ブロックの子どもたちのことも見守り続けていきます。



私は学生時代に2週間、鎌倉児童ホームで実習を行いました。その時にのびのびとした雰囲気、職員の子どもへの関わり方を見て、自分が理想とする家庭的な雰囲気に惹かれ入職しました。子供たちとの信頼関係はまだまだで、先輩職員のように上手く対応出来なかったり、関わり方に悩んだりと大変なことは多いです。ですが徐々に私の事を覚えてくれて見かけると手を振ってくれたり、名前を呼んで声をかけてくれたりする子が増えてくるのがとても嬉しく感じています。日々の生活の中でも子ども達の笑顔に元気を貰い先輩方に支えられ1年間頑張ることが出来ました。今後は子ども達が何かあった時に頼れるような職員を目指して頑張っていきたいと思います



# まいか さん



「就職するにあたって「職場の雰囲気」に視点を置いて就職先を探していたところ就職担当の先生から鎌ホを紹介して頂きました。実際に見学した際にグラウンドで子どもと遊ぶ職員の姿がまさに「全力で遊ぶ」といった感じでとても印象に残り、同時にその姿に惹かれました。鎌ホに就職して特に楽しいと感じたことは各家の全ての子どもの関わり、各家ごとの雰囲気を感じながら職員の関わりを見ることが出来た事です。

1年間を通して各家を研修させていただくのでグラウンドに出ると

「久しぶり！」と話しかけてくれる事が嬉しかったです。

また、それは楽しい反面大変でもありました。二か月ごとに新しい家に研修に行くので児童の年齢や性別、特性によって家のルールが異なるので把握することが大変でした。

しかし、子どもとの関わりで悩んだ際は先輩職員が親身に相談に乗ってくれたので一人で抱え込むことがなくそれにより1年間続けることが出来たのだと思います。先輩職員がして下さったことを今度は私が後輩職員に出来ればと思います。配属が決まり不安な事もありますが気持ちを切り替えて頑張っていきたいと思います。」



## “ぽんすけ” とともに

## みんなでなかよく

4月27日から恵の家に新しい仲間が加わりました。

ゆあさんが金魚すくいに出会った金魚で名前は『ぽんすけ』です。日頃からペットの飼育を夢見ながらも、なかなか叶わずにいましたがついに飼育することができました。

結愛さんは大変な喜びようであり、飼育時のお約束事とともに『ぽんすけ新聞』も作ってくれましたので、一部をご紹介します。 (豊本)



恵さんにあたらしい仲間が来ました。その仲間は金魚の「ぽんすけ」です。

金魚の飼い主は結愛ですが、みんな仲良く飼っています。

ぽんすけは結愛が金魚すくいを持ってきた子です。

金魚すくいの中で一番元気で大きかったし、

あとなぜか絶対にこの子がいいと思いついて帰ってきました

ぽんすけという名前の決め手はその場のノリで決めました。

ぽんすけは恵初めてのペットです。

ちゃんと自身でルールを考え夜はずっと明かりや人に見られていると疲れるからとタオルをかけてあげました。

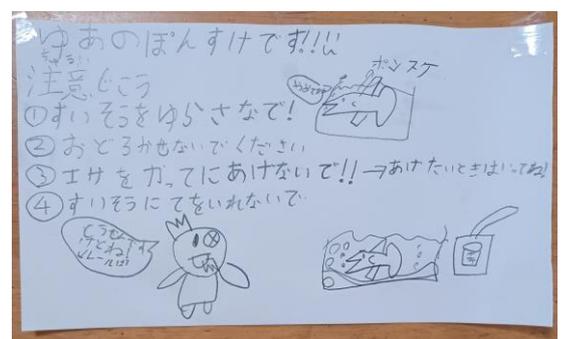
ぽんすけは金魚の種類は和金ということがわかりました。

でもまだ女の子か男の子かはわかっていません。

ぽんすけはめぐみでちゃんと飼っていきますのでご安心を

とってもかわいくていつも元気に水槽を泳いでいます、

読んでくれてありがとう(^\_^)



卒園生4名に「自分にとって鎌ホとは？」をつぶやいて頂きました！

# K kamahotter

[ホーム](#) [プロフィール](#) [友だちを検索](#) [設定ヘルプ](#)

Q みんなにとって鎌ホとは？

140

投稿する 

@k -2hours ago



私にとって鎌ホは第二の家であり、安心して、信頼できる人がたくさんいるところです。もちろん最初は怖くて早く家に帰りたと思っていました。しかし、家でしていたことが当たり前とと思っていましたが、鎌ホで勉強など生活していく内に、この生活が当たり前の生活なのだと気付きました。私は鎌ホに来てから嫌いな勉強が出来るようになり、しかも色んなことを知ることが出来ました。まず同じ部屋だった皆に「ありがとう」と感謝をしたいです。もっと書きたいことはありますがこころへんで。私にとって鎌ホは第二の家族がいるところです！

開く

返信リツイート ★お気に入りに登録...その他

@k -3hours ago



本当に、「家」って感じです。人生のほぼ全てを鎌ホで過ごしたから。あとは、遊んで帰っても部活などで疲れて帰っても、毎日毎日おいしいご飯がある有難い存在です。

開く

返信リツイート ★お気に入りに登録...その他

@m -4hours ago



いちばん安心できる場所。

開く

返信リツイート ★お気に入りに登録...その他

@y -4hours ago



Yの考える鎌ホは、家のような場所。

開く

返信リツイート ★お気に入りに登録...その他

(compiled by Satoh and Mayu)

## 編集後記

鎌倉児童ホームでの生活もようやくコロナ禍以前のものに戻りつつあります。

学校のお友達の家遊びに行かせていただくこともありますが、子どもたちが「今日は家で遊ぼう」とお友達を連れてきてくれることはとても嬉しいことです。鎌倉海浜公園に新しい遊具が出来たこともあり、施設外での過ごす時間も増えていきますので、今後も皆様に見守っていただけると幸いに存じます。

鎌倉児童ホームコミュニケーション委員会 (豊本)